

令和8年度

日本芸術院 所蔵作品展

令和8年

10月28日水 → 11月3日火・祝

会場 日本芸術院会館

観覧料 無 料

開館時間 10時～17時（最終入場16時45分）

主 催 日本芸術院

会期中
無休

テーマ
生き物

※会期、開館時間、展示作品等については、諸事情により変更する場合がございます。

日本芸術院に所蔵されている美術作品は、恩賜賞・日本芸術院賞を受賞した作品を中心に、会員就任記念時等の寄贈や、故川合玉堂会員の寄附金による買入れ等により、多年にわたり様々な形で収集されたもので、現在の総数は340点あまりに達します。

このたび「令和8年度日本芸術院所蔵作品展」では、当院が所蔵する美術作品の中から、「生き物」をテーマに、絵画、彫刻、工芸、書の公開を行います。時代に名を遺す芸術家による珠玉の作品をどうぞお楽しみください。



日本芸術院について

日本芸術院は、文部省美術展覧会の美術審査委員会を母体として、大正8(1919)年に帝国美術院として創設されました。帝国美術院設立当初の美術分野に加え、昭和12(1937)年には文芸および芸能の分野が拡充され、帝国芸術院へと改組、さらに昭和22(1947)年に現在の日本芸術院へと名称が変更されました。現在、日本芸術院会員の定員は120名であり、第一部：美術、第二部：文芸、および第三部：音楽・演劇・舞踊のいずれかの分野に所属して運営しています。

日本芸術院賞とは

日本芸術院では、会員以外の者で、卓越した芸術作品と認められるものを制作した者および芸術の進歩に貢献する顕著な業績があると認められる者に対して、昭和16年から戦中、戦後の一時期を除いて毎年、日本芸術院賞を授与しています。天皇皇后両陛下下の行幸啓を仰ぎ挙行される授賞式では、この日本芸術院賞を受賞した者の中より特に選ばれて贈られる恩賜賞の授与も併せて行われます。



恩賜賞・日本芸術院賞 清原啓一《花園の遊鶏》

会期中 同時開催

日本芸術院会員記録映像上映

平成5年度から、日本芸術院会員の芸術上の功績等を記録するため対談等の形式で作成しています。これまで150名を超える会員の記録映像を作成し、保存しています。

①10:30～ ②14:00～ 各回1時間程度
第二部、第三部の会員を中心に上映予定
無料 事前申込不要

上映時間、内容等については諸事情により変更する場合がございます。

日本芸術院賞
田中塊堂《平和》



小川英鳳《金銅彫金鉢》



橋本高昇《牡鹿》



中野恵祥《板金馬飾函》

日比野五鳳《かはつ》



大内田茂士《電柱と鴉》



吉田登毅《浄池》

展覧予定作家
(敬称略・五十音順)

大内田茂士、小川英鳳、清原啓一、田中塊堂、中野恵祥、中村直人、
橋本高昇、日比野五鳳、松本佐吉、三井義夫、吉田登毅

日本芸術院会館

所在地 〒110-0007 東京都台東区上野公園1-30

電話 03-3821-7191

ホームページ <https://www.geijyutuin.go.jp>

交通案内

[J R] 上野駅公園口 徒歩3分

[京成電鉄] 京成上野駅正面口 徒歩5分

[東京メトロ] 日比谷線・銀座線上野駅 徒歩5分

駐車場はございませんので、お車の来院はお控えください



この印刷物は、古紙配合率70%再生紙を使用しています。